

平成30年度 第2回 内灘町男女共同参画推進委員会

- 【日 時】 平成31年2月13日(水) 14:30~15:30
【場 所】 内灘町役場 3階 303会議室
【出席委員】 綿引委員・杉森委員・井口委員・源代委員・庄田委員(5名)
【事務局】 助田(室長)・喜多・小谷

会 議 内 容

1. 委員委嘱状交付

委員長・副委員長 互選

委員長 綿引 伴子氏、副委員長 中村 由利子氏 が就任

2. 開会の挨拶

男女共同参画室 室長 助田 有二

3. 議 事

【第1号議案 広域連携事業及び、ふらっとミニセミナー実施報告について】

事務局)『女らしく男らしくでなく、自分らしく』と題し、昨年12/2日曜日に開催した。

参加者は117名(内訳 男性17名、女性57名 未回答27名)。

今回の内容、成果について、講師の露の眞さんが落語の世界に入ったきっかけや、男社会であった落語界での洗礼や苦悩などの実体験も含め、落語でおもしろおかしくお話をしていただいた。講演会は終始笑いがおこり、皆さん楽しく過ごしていただけた。

反省点は、当日は良く晴れ暖かい日で、後半は窓を開けるなど対処したが、会場が暑くなりすぎてしまった。他、申込みが不要だったため、実際どれくらいの方が来るのか把握できなかった。

今後は整理券等を配布するなど申込み受付期間でどのように受付するか協議会内で検討が必要。また、アンケートにもあったが、もう少し『自分らしさ』という部分についての話も聞きたかった。

委 員) 対象を絞るとまたより深い内容も聞けるかも知れないが、今回は男女共同参画について考える一つのきっかけとして幅広い対象でたくさんの方に聴いてもらえたのは良かった。

委 員) 広域のセミナーは回覧版も回ったかと思うが、アンケートできくチラシとは回覧版のことか。

事務局) 今回は内灘町での開催だった為、内灘町はチラシを全戸配布した。他に公民館等主要施設にはポスターの掲示も行った。他市町については、一定数のチラシを渡し、配布の仕方はそれぞれに任せた。

委員) 参加した人の住まいなどの割合は。

事務局) アンケートの集計結果にある通り、内灘町が70%を占めていた。その他近郊の方が多く、白山市や野々市市はやはり遠方の為か、参加は少なかった。

事務局) 次に、先日2/2土曜日開催のふらっとミニセミナーの実施報告について。

『コミュニケーションカアップ会話術』をテーマとし、約1時間半のセミナーを開催した。参加人数は13名で、内訳は 男性3名 女性10名。

エゴグラムシートというものを使って、コミュニケーションの傾向を自己診断し、グラフ化することで、自分の良いところや弱いところを客観的にみることができた。皆さん、それぞれに納得いく診断だったようで、驚かれていた。

また、よい聴き手となるための具体的手法を学び、実際に対話してみることで、相手の考えや意見を尊重しつつ、自分の意見も上手に伝える『自他尊重』のコミュニケーションを学ぶことができた。参加頂いた皆様の満足度も高く、大変有意義なセミナーになった。

エゴグラムについてはどんどん変化していくそうで、対話のトレーニングとして女性に限らず起業する人の応援や、職場での人材育成サポートなど、継続して受講できると良いと思った。

委員) 今回のセミナーに参加したが、実際に自分のエゴグラムを自己診断したり、隣の方と会話したりと、90分の時間配分も良く、参加人数も13名程でちょうど良かったように思う。

事務局) 今回の内容は、企業での人材育成やこれから起業しようと考えている人の育成などにも、非常に効果的な内容であった。
内灘町役場の職員向けにも開催してみたいと思った。

委員) 今回のようなコミュニケーションセミナーを継続的にというのは、シリーズとしてか、同じ内容のものをという意味か。

事務局) どちらの場合もあり得る。起業したい人や企業内人材育成などでは段階を踏んで細かくテーマを分けてシリーズで開催したり、同じ内容を単発的に初受講者を対象に開催したりできるのではないか。今回はいしかわ女性基金を利用し、講師料は無料で開催することができたが、同じような制度を他に利用できれば積極的に開催していけたらよいと考えている。

委員) 参加者の傾向は？

事務局) 個人経営者や営業職、ボランティア活動をされている方など、様々な業種の方が参加して下さった。

=== その後、異議等なく、承認 ===

【第2号議案 女性人材リストの作成について】

事務局) 女性人材リストを作成する目的は、「審議会等での政策・方針決定の場への女性の参画」を推進することにある。昨年度、内灘町男女共同参画推進行動計画の改定版を策定したが、そこにも記載したとおり、女性の政策・方針決定の場への参画を積極的に目指したい。

現在内灘町においても、町の審議会における女性委員の割合は平成30年4月1日時点で31.9%であり、5年後までに40%を目指している。

そこで、内灘町における女性経営者や有識者などの人材情報を幅広く把握し、登録者への委員のお願いや女性活躍推進に向けた講習会や講演会の講師を依頼するなど、有効に活用していきたい。

登録申請書の様式については、お手元の資料の通り、女性人材リストの雛形を作成した。1枚目は登録者の氏名や住所などの情報と、登録したい分野や学歴、活動歴を、2枚目には講演会や講師の経験と、ホームページ等の公開に同意するかしないかなど希望欄を設けた。

登録データの管理方法や取扱いについては、内灘町個人情報保護条例に基づき管理することになるが、その他庁舎内の関連課とも相談したい。

町で登録者を募ることで、その登録者の中での情報交換の場としてコミュニティができあがることや、勉強会を開催するなど、内灘町の女性が活躍するきっかけとなり、相乗効果として町全体の活気につながることを期待している。また、内灘町にこのような女性人材リストがあるということを認識してもらうことで、女性活躍推進のきっかけづくりになればと考えている。

委員) 石川県のリストなどは、市や町の人も使えるのか。

事務局) もちろん使うことができる。登録されている方は、女性企業家や会計士、司法書士、アナウンサーなどいろいろである。

石川県のリストは以前からあるが、町単位で作成しているところはそうないと思われる。だが、もっと内灘町の女性人材の発掘のためにも、内灘町で女性人材リスト作成したい。

委員) 女性人材リストを作ることに、反対意見はあるか。

委員) ハマナス大学の企画などでいろいろな講師に講演をお願いしているが、是非こういったリストを作ってもらえたら、講師探しにも役立つし、活用したい。

委員) リストを作成するに越したことはなく、進めていけばよいのではないかと。ただ、どのように広く皆さんにリストを作成することをわかってもらい、登録者を増やすのか。

事務局) ホームページや広報で定期的呼びかける。また、町の商工会議所へお願いにあがり、女性経営者の方々へ登録していただけるよう働きかけたい。募集時期については、また次年度以降の会議で内容がまとまり次第考えたい。

委員) 以前、所属する大学に一斉メールで女性人材リスト登録のお願いが届いたことがあるが、そういった案内も考えられるのではないか。

事務局) そのようなお願いの仕方も出来るのであれば、活用したい。

委員) 登録は、内灘町在住の人だけか？

事務局) 内灘町在住もしくは、在勤の方になる。

委員) リストが出来上がった場合、情報は公開するのか。

事務局) リスト登録の際に、公開か非公開を選択できるようにしたいので、その希望に沿って管理する。また、実際にリストが集まってきた場合に、どのタイミングで公開できる分を公開するのかなどは、追って考えていきたい。
まず一番の目的は、政策や方針決定の場への女性の参画にあるので、この案件をまとめ、内灘町における女性人材の発掘に役立てたい。

委員) その他、登録者の情報を更新する時期や方法も考える必要がある。

事務局) 石川県では、毎年封書で更新・訂正依頼が来ている。それに習い、どのように更新するか今後考えたい。

=== その後、異議等なく、承認 ===

4. その他

=== 特に議事なし ===

5. 閉会